

ゆきみらい 2022 in 白山

第33回ゆきみらい研究発表会

論文募集要領〈論文執筆要領〉

ゆきみらい研究発表会事務局

令和3年9月

ゆきみらい研究発表会

論文募集要領（執筆要領）

ゆきみらい 2022in 白山実行委員会では、「積雪寒冷地」の快適な生活環境づくりを目指し、市民、行政、研究機関、企業等が行っている様々な取り組みや調査研究に関して、幅広く地域の方々と議論し、情報交換を行うことを目的に「ゆきみらい研究発表会」を開催いたします。

1. ゆきみらい研究発表会の概要

「ゆきみらい研究発表会」は、「ゆきみらい 2022in 白山」の一環として開催するものです。開催概要は以下のとおりです。

◆ゆきみらい研究発表会	令和4年1月28日（金）9：30～16：15
	於；白山郷公園武道館（柔道場、剣道場）
◇オープニングセレモニー	令和4年1月27日（木）10：00～10：15（予定）
	於；白山郷公園体育館
◇シンポジウム	令和4年1月27日（木）14：00～17：00（予定）
	於；松任文化会館ピーノ（ホール）
◇見本市	令和4年1月27日（木）～1月28日（金）（予定）
	於；白山郷公園 体育館
◇除雪機械展示・実演会	令和4年1月27日（木）～1月28日（金）（予定）
	於；白山郷公園 駐車場
◇交流会	令和3年1月27日（木）18：00～
	於；グランドホテル白山

2. 研究発表会発表分野

募集する調査研究分野及び事例報告は以下のテーマで、調査研究や活動実績報告（住民団体、市民行政との連携協働等）といったものの発表も幅広く募集いたします。

◆セッションⅠ『冬期における災害対応』

キーワード：災害、災害対策基本法、通行止め、雪氷予測、情報提供、救援・救助対応、関係機関連携、タイムライン、結氷・流水対策、融雪、融雪出水、気候変動 等

◆セッションⅡ『冬期道路管理のICTと担い手』

キーワード：ICT、IoT、i-Construction、新技術、コスト縮減、効率化、人手不足、高齢化、技術の伝承、気象予測 等

◆セッションⅢ『地域資源を活かした雪国の観光』

キーワード：冬期観光、雪国文化、利雪・親雪、インバウンド、地域資源、情報発信、官民連携 等

※各テーマのキーワードは参考であり、上記以外のキーワードについても応募可能とします。

※他の学会等で既に発表された論文も応募可能とします。

3. 提出論文の種類

概要論文及び本論文

4. 概要論文の執筆要領

概要論文には、調査研究目的、手法、結果を明確に記述してください。

また、本文（表題、図表、写真を含め）などにおいて特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。

なお、一般の方、NPO やボランティア団体等の論文につきましては、論文様式をこだわらないこととしますので、自由な形態で提出して頂いて構いません。

ただし、過年度に発表された公表物などで分量の多いものは要約してもらうことがあります。また、自由様式ではありますが、起承転結（はじめにや発表の主旨、課題や問題点、活動の内容、まとめ）などをわかりやすく記載して頂き、論点を明確にして下さい。

事務局内の査読班の判断により論文発表をお断りする場合がありますのでご了承ください。

仕様については、以下のとおりといたします。（参考例を掲載しておりますので参照ください。）

～概要論文執筆要領（行政・研究機関・大学等、企業）～

◇容 量 ; A4版1ページ

◇形 式 ; 上下のマージン18mm、左右のマージン12mm、2段組

◇フォント及びポイント;

タイトル（副題含む）-12ポイント、フォントはゴシック、中央寄せ

著者名-12ポイント、フォントは明朝、中央寄せ

著者所属名-10ポイント、フォントは明朝、中央寄せ

本文-10ポイント、フォントは明朝

行間-16ポイント

大見出し-10ポイント、ゴシック

小見出し-10ポイント、明朝

◇文字数等 ; 1行文字数25文字

1段の行数は46行

◇見出し ; 大見出しは行頭から「1.はじめに」のように書き、小見出しは「1.1小見出し」としてください。

◇図 表 ; 図表・写真は順番に「図1」「写真1」と番号をつけてください。

図表番号及び写真番号とタイトルは、図・写真の下。

表は表の上につけてください。

5. 本論文の執筆要領

本論文はA 4版で6ページ以内偶数枚数（4頁、6頁構成）で作成してください。

本論文の執筆要領に関しては、1ページは論文概要と同様とします。

2ページ以降に関しましては、1段 25文字×46行、2段組で作成してください。

（参考例を掲載しておりますので参照ください。）

6. 論文の提出締切

論文申込書

令和 3年 9月21日（火）

概要論文・本論文

令和 3年10月20日（水）

7. 論文申込書の提出方法

- ・論文申込書（別紙－1）に必要事項を記入のうえ、電子メール（PDF ファイル形式）にて提出期限までに「ゆきみらい研究発表会事務局」へお申し込みください。（提出先は下記の11.をご参照願います）

8. 論文概要及び本論文の提出方法

- ・論文概要及び本論文は、電子媒体（ファイル形式 PDF）で、概要と本論文を別ファイルとしてください。電子メールのデータ容量は、4Mbyte 程度を上限としてください。
- ・概要論文・本論文の提出は、提出期限までに「ゆきみらい研究発表会事務局」へ、電子メールまたは、郵送（CD-ROM）にてお申し込み下さい。

※メール及び郵送物を受領次第、事務局よりメールを送付します。

万一、提出締切日から1週間経過しても事務局からメールが届かない場合には、お手数ですが、事務局までお問い合わせ願います。

9. 論文発表

- ・論文発表は、「口頭発表」、「論文集掲載」といたします。
- ・論文申込書の選択欄に、ご希望の発表形式を一つ選んでご記入ください。
- ・「口頭発表」については、時間に限りがございます。口頭発表希望者多数の場合、事務局にて選定し、論文集掲載に変更させて頂く場合がございます。後日、事務局からご連絡いたしますので、予めご了承願います。
- ・投稿されたすべての論文は、論文集として配布するとともに、北陸地方整備局ホームページに掲載する予定です。

【口頭発表】

- ・口頭発表時間は一人15分（発表12分、質疑応答2分、入替1分）を予定しています。
- ・基本的に当日のプレゼンテーションは、Windows 対応の Microsoft PowerPoint を用いて行いますが、発表の際には、OHP 使用、説明用資料配付が必要等、事務局に申し出て頂ければ適宜対応致します。

※詳細については、論文発表資料の作成依頼時に再度連絡させていただきます。
(連絡は、応募者へ論文の発表方法を通知する11月末頃を予定しております。)

10. 概略スケジュール

令和3年 9月21日(火) 論文申込書の締切
令和3年10月20日(水) 概要論文及び本論文の締切
令和3年11月30日(火) 応募者へ論文の発表形式及び発表要領を通知
令和4年 1月28日(金) 研究発表会の開催

11. 論文提出及び問い合わせ先

「ゆきみらい研究発表会事務局」

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 (担当: 関根、小倉、村井)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館

電話: 025-370-6742

E-mail: hrr-244001@mlit.go.jp

★「ゆきみらい研究発表会」ホームページ

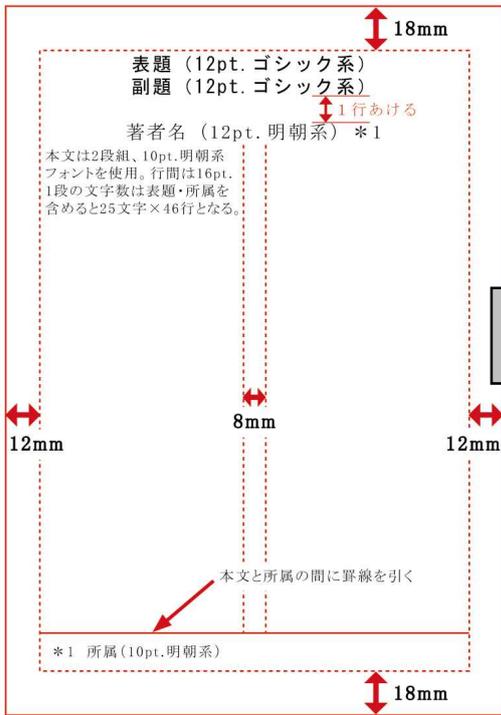
<http://www.hrr.mlit.go.jp/yukimirai-hakusan/>

*上記ホームページからも「論文申込書」及び「募集要領」がダウンロードできます。

*上記ホームページは令和3年9月1日開設を予定。

■参考（執筆形式、レイアウト）

(1) 概要論文



例

効率的な凍結防止剤散布に関する冬期路面調査
樋口浩男*1 小林一治*1 武士俊也*

1. はじめに
我が国では、平成2年度に「スパイクタイヤ除きの発生防止法に関する法律」が施行された以降、凍結防止剤の使用量が年々増加する傾向にあるが、安全で円滑な道路交通確保のための適切な散布水準を確保しながら、コスト削減を求められるという道路管理者には厳しい状況にある。
本調査では、効率的な凍結防止剤の散布方法を検討するため、散布量・散布間隔を変化させ、路面性状、路面残留塩分濃度およびスベリ懸架係数を併用検査とともに検証、比較する試験を実施したので報告する。

2. 試験概要
試験場所は、一般国道18号新潟県中頸城郡中郷村郷内地区に凍結防止剤の散布量、散布間隔（表-1）が異なる3つの調査区画（A区画、B区画、C区画）を設定し実施した。

表-1 散布量・散布間隔

散布間隔	区画別散布量	区画別散布量
1日散布	30g/m ²	20g/m ² 15g/m ²
2日散布	30g/m ²	15g/m ²
3日散布	30g/m ²	15g/m ²
4日散布	30g/m ²	15g/m ²
5日散布	20g/m ²	15g/m ²
6日散布	20g/m ²	15g/m ²
合計散布量	180g/m ²	105g/m ² 90g/m ²

3. 試験結果
観測結果を図-1に示す。路面性状では、各区画とも調査地で試験が開始される後降雪により路面性状に変化が認められている。A区画、B区画では降雪状況が発生しているが、C区画では降雪状況は観測されなかった。
雪水残留塩分濃度については、B・C区画は-0.3℃～-0.5℃の範囲で推移し、A区画のみ高く0.6℃～1.0℃の範囲で推移している。
スベリ懸架係数については、各区画とも初期降雪時の路面状態の時点で一斉高く、その後変化しながら推移しており、凍結防止剤を散布した直後のスベリ懸架係数は上昇している。
路面残留塩分濃度については、各区画とも散布直後

の路面内に塩分濃度の低下が見られるが上昇している。
A区画については、降雪が開始直後より上昇しており、このときの路面状態は降雪状況が最も悪化する。B・C区画においては、降雪塩分濃度が0%に達するまで低下しているが、B区画の最低濃度観測した時点で降雪が観測されている。

図-1 観測結果

4. 今後の課題
効率的な凍結防止剤散布を提案するためには、降雪状況・気象状況に合わせて適切な散布量を確保する必要があり、今後残留塩分濃度に着目し、以下の課題について検討を進める。
① 散布方法による塩分濃度の増加量の評価
② 路面残留塩分濃度の低減率の評価
③ 路面管理上必要な塩分濃度管理線の検討

5. まとめ
凍結防止剤の散布量・散布間隔を変化させ、調査で散布を提案しながら試験した結果、路面残留塩分濃度を把握・管理することにより冬期路面管理が可能であると考える。
今後も試験段階のための塩分濃度特性試験等を実施し、散布コストも考慮した効率的な凍結防止剤散布方法について検討を進める。

*1 独立行政法人土木研究所 新潟試験所

↑※参考作成例）第17回ふゆトピア研究発表会
発表論文より概要論文抜粋

★A4版1頁構成で、調査研究目的、手法、結果をわかりやすく明確に記述してください。

第 3 3 回ゆきみらい研究発表会
論文申込書

(別紙 1)

発表形式の希望 (○を付けてください)	口頭発表 ・ 論文集掲載 ※希望する形式を <u>一つ</u> 選んで記入して下さい。
セッション (テーマ) (○を付けてください)	I ・ II ・ III ・ その他
論文キーワード (複数記入して下さい)	※各セッションキーワードに記載されていないものでも可能です。
論 文 名 のタイトル	
著 者 名	(ふりがな) 氏 名: 所 属:
担 当 者	(ふりがな) 氏 名: 所 属: ※上記著者と同一であれば記入の必要はありません。 ※連名執筆の場合は、連名者のうち一人を連絡担当者としてください ※地方整備局等で取りまとめた場合は、その担当者名をご記入ください。
担当者連絡先	住所 〒 電話: E-mail アドレス:

■論文申込書提出期限：令和3年9月21日（火）

<注意事項等（提出不要）>

- ・いずれの発表形式も、参加費用は無料です。
- ・「口頭発表」については、時間に限りがございます。
- ・口頭発表希望者多数の場合、事務局にて選定し、論文集掲載に変更させて頂く場合がございます。後日、事務局からご連絡いたしますので、予めご了承願います。

※口頭発表から論文集掲載に変更して頂いた方の論文につきましては、論文集のほか、北陸地方整備局ホームページ等に掲載する予定です。

- ・発表内容（表題、図表、写真を含め）が特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。
- ・事務局内の査読班の判断により、論文発表をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

<申し込み・お問い合わせ>

「ゆきみらい研究発表会事務局」

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課（担当：関根、小倉、村井）

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館

電話：025-370-6742

e-mail：hrr-244001@mlit.go.jp

【概要論文様式】 表題 (12pt. ゴシック系)
副題 (12pt. ゴシック系)

著者名 (12pt. 明朝系) * 1

本文は2段組み、10pt. 明朝系フォントを使用。行間は16pt.

1段の文字数は表題・所属を含めると25文字46行となる。

* 1 所属 (10pt. 明朝系)

【本論文様式】 表題 (12pt. ゴシック系)

副題 (12pt. ゴシック系)

著者名 (12pt. 明朝系) * 1

本文は2段組み、10pt. 明朝系フォントを使用。行間は16pt.

1段の文字数は表題・所属を含めると25文字46行となる。

* 1 所属 (10pt. 明朝系)